

JTA Journal

ジャーナル

April 2025 No.40

巻頭言



インドの風をよむ

理事

和田
佳宏

ニデックマシンツールの和田佳宏でございます。日頃より、会長・副会長をはじめ、理事の皆様や各委員会の皆様には大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。2023年に理事を拝命して以降、ご挨拶の機会がございましたので、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は入社以来、機械工具事業に携わり25年が経ちました。切削工具のコーティングを中心とした開発設計・生産技術を担当し、インド・アメリカ・中国などの海外拠点の立上げやM&A、PMIを通じてグローバル展開の加速に努めてまいりました。アメリカの工具会社のM&AとPMIを推進した2012年当時の為替は1ドル80円前後でしたが、現在は150円を超え、そのころに比べると日本からの輸出工具にとっては有利な環境が整っており、この波にうまく乗ることで恩恵を受けている会員企業様もいらっしゃるのではないかと思います。

アジアに目を向けてみると、これまで世界中の多くの企業が中国を主要な生産拠点としていましたが、コスト上昇や地政学リスクの影響を受け、インドへの投資が拡大しています。インド政府も「Make in India」政策を推進し、国内生産の強化に注力する中、製造業全体の高度化が進んでいます。私自身もこの1年で4回インドを訪問していますが、道路やトラムの整備、工場建設が加速しており、産業基盤の拡充が目に見える形で進んでいます。当社の工具事業においても、2005年のインド進出以来、第2・第3工場を建設し、現在は第4工場の建設を計画しています。インド市場における工作機械と工具の需要も、大きな転換期を迎えています。これまでは、中古の工作機械を用いて低速で加工し、コストを抑えながら生産する手法が主流でした。しかし、近年では生産性の向上が求められ、日本やヨーロッパの高精度・高速加工が可能な最新設備の導入が進んでいます。特に、自動車産業や農機、さらにはインフラ関連の需要拡大により、より効率的な生産体制が求められるようになっていきます。これに伴い、切削工具市場でも、従来のイニシャルコスト重視の工具から、より高精度・高速加工に適した高性能工具への関心が強くなっています。2025年1月にインド・ベンガルールで開催されたインド工作機械展 (IMTEX2025) も、こうした変化を象徴するイベントのひとつです。近年、IMTEXの来場者数は著しく増加しており10万人以上に達しております。これはインド市場における最新工作機械・工具への関心の高まりと需要の拡大を示しており、産業の高度化とともに、日本製品への関心も高まっております。今後、日本のものづくり産業がさらなる成長を遂げるためには、変化する市場のニーズに柔軟に対応し、日本企業の強みを活かすどのように貢献していくかが問われています。会員の皆様とともに日頃の事業活動と併せ本会での活動を通じ、グローバルサウス市場において単なる価格競争ではなく、「高品質・高効率・長寿命・サステナブル」という総合的な価値を武器に、世界に存在感を示していきましょう。本年度が皆様にとって成長の年となり、日本機械工具工業会がさらに発展していくことを心より祈念申し上げます。

(ニデックマシンツール(株) 執行役員精密部品事業部長)

2025年 新年賀詞交歓会

1月14日、東京會館丸の内本館にて2025年新年賀詞交歓会が開催された。正会員、賛助会員はじめ来賓、OB、報道等250名が出席し盛会となった。



■挨拶 佐橋副会長

年頭の挨拶で佐橋副会長は「昨年の景気は、国内の鉱工業生産は安定してきたが、1月の地震や天候不順により我々が期待した水準までには伸びず、全体としてまだまだ厳しいというのが実感。海外は、中国は景気低迷・自動車関連でのEV進展による日系メーカーの苦戦、米州は比較的堅調、欧州は後半減速感があり、唯一好調であったのがインドという状況。当工業会の生産額は上期実績が2,320億円と、2023年を若干下回る実績。年間見通しを4,950億円から4,703億円に下方修正。日本工作機械工業会の公表数字は2024年度受注推定が1兆4,700億円。2025年の見通しとして1兆6,000億円。特に国内需要は2024年度が4,400億円に対し2025年度は5,000億円に戻す、先延ばしされている設備投資が後半には動き出す見込と公表されている。当工業会も内需比率が高い為、日本工作機械工業会と同様な動きになることを期待している。当工業会の本年の施策は、1つ目は会員の海外進出サポートの継続。昨年は会員3社がIMTSで工業会共同ブースを出展、2025年も1月にIMTEX（インド）、秋にはEMO（ドイツ）も控えている。海外市場で日本企業のプレゼンスを上げる事は重要であり、工業会として尽力したい。2つ目は各会員のDX、GXの取組へのサポート。世界で戦う為には賃上げを上回る合理化、環境にやさしいものづくりが必要になってくる。1社でDX、GXに着手するという事は困難であるため、導入のサポートができればと思っている。本年は当工業会が発足してから10年を迎える。会員各社にとっても、意味のある工業会に育てていきたいと考える。」と述べた。

次に来賓を代表され経済産業省産業機械課の須賀課長より「昨年は能登半島地震を始め自然災害に見舞われた1年であった。しかしながらマクロの経済指標を見ると、30年ぶりの高水準の賃上げと設備投資、市場最高水準の株価、名目GDP600兆円越えといった明るい兆

しが聞かれる1年だった。経済産業省としては、今年はこのトレンドを実感のあるものとして定着させていくことを目標に、政策を総動員していくことが政府のミッションと考える。また、昨年開催されたJIMTOF2024では、多くの会員企業が新製品、加工ソリューションを披露された。我が国の競争力に直結する民間投資を後押しする各種支援策で皆様の力になればと考えている。4月から大阪・関西万博が開催される。一人でも多くの皆様に足を運んでいただきたい。今年の干支は蛇、再生の意味が込められており、日本経済についても30年に渉る停滞から脱皮をして新しく再生する1年になればと祈念している。」との祝辞があった。

続いて森副会長より、「中々景気のいい話が出てきていないが、乾杯で厄を落として、今年の干支である蛇のように脱皮し再生する場になりたい。力を込めて乾杯してほしい。」と挨拶した。祝宴では出席者が和やかな年始の挨拶を交わし歓談する姿が見られた。

宴もたけなわの頃、大沢副会長による中締めと挨拶があり、最後は全員による三本締めで締めくくられた。こうして、2025年の日本機械工具工業会は、新たなスタートを切った。



■祝辞 経済産業省 須賀課長



■乾杯 森副会長



■中締め 大沢副会長



■乾杯の様子

第14回 技術交流発表会

技術者の相互研鑽および最新技術の紹介等を目的とした第14回技術交流発表会が、2月13日に開催された。会場はウインクあいち、リアル・オンラインあわせて、44社240名の方が参加された。大石専務理事の開会の辞に続き、辻村委員長（オーエスジー㈱）



■挨拶 辻村委員長

より「今回は技術功績大賞の受賞はなかったが、技術功績賞と技術奨励賞合わせて10件の受賞があった。受賞者の発表を聞いていただき、お互いの技術・製品開発の参考にする有意義な技術交流となることを期待する。」

と開会の挨拶を述べた。その後、大野副委員長（㈱不二越）の司会進行のもと、令和6年度日本機械工具工



■発表会の様子

業会賞受賞記念講演として、下記10件についてご講演いただいた。発表会は辻村委員長から「多岐にわたる内容をお話いただいた。2025年でJTAは10周年を迎える。各企業いろいろな苦勞をして顧客ニーズを解決するだけでなく地域色のあるニーズを解決することも加味した付加価値のある製品の紹介があった。次の賞の募集も始まるのでまた応募してほしい。」との総評で締めくくられ、終了後は懇親会および講演者への記念品贈呈を行い、閉会した。



■講演集合写真

■受賞記念講演一覧（発表順・敬称略）

- ① 低抵抗高速加工ヘリカルエンドミル「ドリミル」
株式会社 イワタツール 岩田 昌尚
- ② 均粒・高結晶性WC粉の開発
株式会社 アライドマテリアル 本棒 深也
- ③ センシングツールおよびKKDX加工サポート
住友電工ハードメタル株式会社 吉田 高太
- ④ 鋳鉄旋削用コーテッド材種「AC4125K」の開発
住友電工ハードメタル株式会社 深江 恒佑
- ⑤ ステンレス鋼旋削用材種AH6200シリーズの開発
株式会社 タンガロイ 片桐 隆雄

- ⑥ 「アクアREVOドリル バリレス」の開発
株式会社 不二越 山田 雄大
- ⑦ 高硬度鋼加工用高送り小径複合ラジアスエンドミル
株式会社 MOLDINO 田牧 賢史朗
- ⑧ 2枚刃ボールエンドミル「CWLБ」の開発
ユニオンツール株式会社 吉村 翔太
- ⑨ 内径溝入れ工具ADDInternalCutの開発
株式会社 タンガロイ 近藤 佑磨
- ⑩ 汎用ミーリング材種「MV1030」の開発
三菱マテリアル株式会社 杉山 醇

第10回 環境活動交流発表会

第10回環境活動交流発表会が3月7日にエッサム神田ホール1号館にてリアル・オンラインのハイブリッド開催された。参加企業数及び参加者数は34社120名であった。

はじめに、大橋委員長（三菱マテリアル㈱）が開会の挨拶として「今回もリアルとオンラインのハイブリッドの開催とした。ハイブリッドにすることで参加しやすくなると思うが、発表者の生の声を聴く意味でもぜひ次回はリアル参加をしていただきたいと思う。本日の発表は皆さんにとって日々の業務で環境活動に役立つものばかりと思うので、これからの改善活動に役立てていただければと思う。」と述べた。



■挨拶 大橋環境委員長

次に市川環境賞専門委員長（富士精工㈱）の司会進行にて発表会を開始、2024年度環境調査票集計報告と環境調査票の設問・配点に関する説明の後、各受賞企業の紹介があった。まず、環境大賞（環境活動賞含む）を受賞した三菱マテリアル㈱については「昨年に引き続き総合得点で第1位、昨年比で良化されていないと加点されない設問が数多くある中、昨年と同じ点数を維持されていることには驚きを覚える。最高レベルに到達した自社の環境活動に満足されることなく、さらなる改善に全社一丸となって取り組まれた結果であることが容易に推察される。」と紹介した。続いて同じく同点1位で環境大賞受賞の㈱タンガロイについては「ここ数年徐々に点数が上がってきており、ついに同点1位に達した。特に改善活動関係の得点は3割



■司会 市川専門委員長

以上も上がっている。社内の継続的な環境への取り組みが、大きな成果として表れている証と考える」と紹介された。今回、同点1位が2社となったため環境賞の受賞は無かった。そして、「環境特別賞」受賞のニデックマシンツール㈱・㈱MOLDINOについては「二酸化炭素排出量削減・廃棄物量削減などで顕著な成果をあげている。生産高原単位二酸化炭素排出量を複数年連続で削減されている。99%以上の高い再資源化率を維持しつつ総廃棄物量を複数年連続で削減されているなど、これらは他社の模範になるものである。」と紹介があった。

その後、環境各賞受賞記念として上記4件に加え、環境活動賞受賞13件の計18件について、各社の担当者より発表された。カーボンニュートラルの実現に向けて各社の二酸化炭素排出量・廃棄物量削減、省エネやリサイクルの取り組みの発表の他にも、事業を取り巻く環境の変化に対応し、持続可能な事業活動を目指すうえで重要となる発表内容があった。各社の社会的責任に対する意識レベル向上が垣間見られ、様々な視点から自社の環境活動について考えることができる有意義な時間となった。

最後に大橋委員長より挨拶があり、発表会は終了した。その後、懇親会場へ移動し、各受賞企業へ記念品贈呈を行い、懇親会にて各社交流を深め、盛況のうちに閉会した。

発表者一覧 (敬称略)

【環境大賞 (含：環境活動賞)】2件

活動賞テーマ：プラスチック再資源化への取り組み
三菱マテリアル株式会社
筑波製作所 安全環境管理室 練木 貴之

活動賞テーマ：空調用ボイラー燃料転換に伴うCO₂削減
株式会社 タンガロイ
品質保証部 環境グループ 羽成 美澄
いわき工場 企画管理課 庄司 雅哉

【環境特別賞】2件

生産性向上及び省エネ取組による生産高原単位改善活動
ニデックマシンツール株式会社 西村 昭廣

環境保全活動の取り組み
株式会社 MOLDINO
成田工場 安全環境管理室 檜垣 俊彦

【環境活動賞】13件 (社名五十音順)

■コンプレッサエア圧最適化
NTKカッティングツールズ株式会社
生産本部 生産技術部 設備技術課 中村 友洋

■輸送方式見直しによるCO₂削減
オーエスジー株式会社
グローバル営業部 OLCプロダクトチーム
山口 幹人

■コンプレッサ冷却塔エコネット設置による省エネ
京セラ株式会社
生産技術部 川内管理技術課 風間 隆秀

■クーラント液長寿命化の取り組み
住友電工ハードメタル株式会社
生産技術開発部 設備開発グループ 脇田 幸輔

■ミストコレクターの待機電力削減
ダイジェット工業株式会社
大阪切削生技課 古矢 怜

■電気利用の合理化
～200Vから400Vへの昇圧変圧器の廃止～
株式会社 タンガロイ
九州工場 設備技術課 白水 秀和

■試加工用廃TPの有価物化による廃棄物埋立量削減
株式会社 不二越
工具事業部 企画部〔管理〕 森 健治

■エアーマット (500×500) 使用量低減による可燃ごみ削減
富士精工株式会社
鹿児島工場 鹿児島工場管理課 間手原 翼

■廃プラの一部、有価引取による廃棄物排出量の削減
富士精工株式会社
総務部 安全環境推進課 野口 竜也

■コンプレッサの使用量低減によるCO₂排出量の低減
富士精工株式会社
熊本工場 熊本工場管理課 岩永 文博

■恒温室の空調機及びラジエタによる省エネ
富士精工株式会社
生産技術部 グローバル生産技術課 鈴木 聖士

■アルカリ洗浄廃液・廃研削水の下排水化
三菱マテリアル株式会社
明石製作所 安全環境管理室 前田 浩一

■太陽光発電所建設による環境負荷低減
三菱マテリアル株式会社
岐阜製作所 安全環境管理室 藤原 悠嗣



■受賞者集合写真

2024 年度技術環境合同委員会

12月5日～6日の2日間、技術環境合同委員会が開催されました。

JAXA 角田宇宙センター見学

今年は宮城県角田市に位置するJAXA 角田宇宙センターにて、同センター研究開発部門 第四研究ユニット 特任担当役 吉田様に施設の説明をいただいた後、見学いたしました。

JAXAでは、種子島宇宙センターでのロケット打ち上げや人工衛星の軌道投入に必要な技術の開発、宇宙エンジンの真空環境試験などを通じて宇宙開発を推進しています。ロケット打ち上げは、迫力ある光と音が特徴で、人工衛星を軌道に乗せるには秒速7.9kmの高速水平運動が必要です。JAXAは真空試験設備を用いて極限環境でのエンジン性能を確認し、高精度な部品製造を実現しています。近年は官民共創センターの設立により、民間企業の参入を促進し、宇宙産業全体の発展を目指しています。さらに、月面基地の建設構想も進めており、宇宙における新たな産業の可能性を追求しています。JAXAのこれらの取り組みは、国内外での宇宙開発の進展に大きく寄与しています。

合同委員会

12月6日は技術環境合同委員会を実施しました。本委員会は各委員会、専門委員会の活動を共有するもので、各委員会の委員長より活動報告をいたしました。活発な意見交換があり、2時間の会議が終了いたしました。

技術環境合同委員会は各委員会で活動される皆さまが交流される貴重な機会となっております。毎年技術委員会、環境委員会並びに各専門委員会から参加を募集・開催しており、次回は2025年11月ごろに長崎県にて開催を予定しております。今回ご参加の方も、そうでない方も是非、次回ご参加を検討いただけますと幸いです。



■ JAXA 角田宇宙センター



■ 合同委員会の様子

IMTEX2025 ツアー

日本機械工具工業会と日本工作機器工業会の共催ツアーとして1月20日(月)～25日(土)まで、インドのベンガルール、デリーを参加者13名で訪問しました。

●1月21日

夕食会を開催し、OSGインド/吉川社長よりインド経済の実情を説明いただいた。

●1月22日

トヨタ・キルロスカ・オートパーツ工場見学

ミッション、エンジン、HVユニット等を生産し、インドの他アジア圏にも輸出している。

マキノインド工場見学

Slimシリーズなどを生産。鋳物は国内調達し社内加工し、スピンドルも同社内で組み立てている。

●1月23日

IMTEX2025 (ベンガルール国際展示場) 展示会見学

会場は8つのホールで10万人以上の来場が見込まれている。

ICTMA (インド切削工具工業会) との昼食会

ICTMA主要メンバーとJTAから生悦住理事、ツアーメンバーほか合わせて50名ほどがIMTEX展示会場内のレストランに集まった。ラヴィブ・レム会長、ア Nilkumar 副会長らと面談し、日印間の技術交流や統計について意見交換を行い、2026年JIMTOFでの再会を約束した。

●1月24日

JETRO ニューデリー事務所訪問

鈴木所長、波多野氏より一般経済事情、ビジネス慣習、投資の際に注意すべき事項をお話いただいた。

専務理事 大石哲也



■ マキノインド工場見学



■ IMTEX2025 展示会見学



■ ICTMA との昼食会

◆会社紹介とPR



本社工場



当社は1969年に創業し、2024年に55周年を迎えました。

「粉末焼結材の質と形を限りなく変え、お客様のニーズに対応した超硬・サーメット製品を提供して社会に貢献します。」この経営理念のもと、長年培った生産技術力と開発力を活かして、国内外の自動車・電子・機械鉄鋼の分野で幅広くご愛顧いただいております。

当社の主力製品としては、切削工具、インサートチップ、耐摩耗金型、バインダレス合金が挙げられます。

2021年には、従来の超微粒超硬合金に極微細の炭窒化チタンを均一に配置して高強度、高硬度を実現し耐摩耗性にも優れた『SCPT合金』を開発しました。

また、直近のトピックとしては、岐阜の刃物メーカーと協力し業界初となる超硬製包丁『KISEKI:』の開発に成功しました。わずか1.2mmという薄さに研ぎ上げられ錆びにくく、驚きの切れ味が長く続きます。ステンレス包丁よりもよく切れる刃先と摩擦が少ない独自の形状に仕上がった薄い刀身が、食材の組織を極力壊すことなく滑らかに切れ込んでいくため、切り口が美しく、歯



KISEKI:

応えや舌ざわりさらには“味”が違います。第三者機関の分析でも、人参の切り口は甘く、ローストビーフやマグロは旨味が強く、玉ねぎは苦みが抑えられるという結果も出ており、大変好評をいただいております。

◆ご当地紹介

当社所在地の蒲郡市は、三河湾に面し温暖な気候を持つ農業の盛んな地域です。「蒲郡と言えば〇〇!」の投票では1位がみかん、2位が竹島で、全体の約半数を占めるほどです。

1位のみかんは、蒲郡温室みかんが有名です。蒲郡オレンジパークではみかん狩りに加え、いちご狩りも楽しめます。シーズンはみかんが10月～12月で、いちごは12月～翌5月となっております。蒲郡市にお立ち寄りの際は足を運んでみてはいかがでしょうか。

2位の竹島は国の天然記念物に指定されている、三河湾にぽっかり浮かぶ小島で蒲郡のシンボリック存在です。長さ387mの橋で陸地と結ばれたこの竹島は、島全体が強力なパワースポットとして広く人気を集めています。島の中央部には日本七弁天に数えられる、開運・安産・縁結びの神様を祀る八百富神社があり、お正月は多くの参拝客で賑わいます。



蒲郡温室みかん



竹島

◆イベント

地元の祭事としては、^{み やまつり}三谷祭があります。三谷祭は蒲郡市無形民俗文化財に指定され、天下の奇祭と呼ばれ、毎年10月下旬に行われます。

1696年（元禄9年）、三谷村の庄屋武内佐左衛門が見た不思議な夢は神のお告げと考えられ、神幸の儀式を行ったことが起源とされています。



4台の山車

「剣」「恵比寿」「^{さんがいがさ}三蓋傘」「^{やま}花」の名を冠する山車と呼ばれる絢爛豪華な車^{うじこ}を氏子である大勢の男性が力強く曳き回して八咫神社と若宮神社の間を練り歩く、迫力満点な蒲郡

の一大イベントです。最大の見どころは、4台の山車を海に曳き入れる海中渡御です。200人もの男衆が山車を海に曳き入れ、水しぶきと共に海の中を渡る光景は圧巻の一言に尽きます。



2023年海中渡御の様子

当社の従業員も大勢参加し、祭の盛り上げりに一役買っています。

2024年暦年生産額推移

(単位：百万円)

品 目	2023年	2024年																
	暦年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	1~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7~12月	暦年		
ドリル	18,582	1,323	1,418	1,373	1,219	1,076	1,149	7,557	1,271	1,055	1,149	1,141	1,101	1,095	6,813	14,370		
エンドミル	4,826	371	397	393	415	374	432	2,380	472	396	393	474	474	461	2,670	5,050		
カッタ	918	78	89	83	90	91	96	527	117	114	131	129	135	140	765	1,292		
ギャカタ	8,314	670	725	770	660	669	664	4,158	649	596	635	581	560	542	3,564	7,721		
ブローチ	8,561	699	734	851	781	804	776	4,644	787	761	736	810	791	774	4,659	9,303		
ねじ加工工具	38,213	3,060	3,158	3,118	3,390	3,067	2,958	18,750	3,124	2,455	2,806	3,288	3,021	2,885	17,580	36,330		
バイト	176	9	7	5	10	8	10	49	8	6	6	7	9	10	47	96		
リーマ	1,485	100	107	124	133	120	122	706	117	100	118	115	118	115	683	1,389		
鋸刃カッタ	1,614	126	130	123	115	110	115	719	128	125	121	129	124	121	747	1,467		
耐摩耗工具	2,066	151	159	163	177	174	157	981	170	143	163	173	129	119	897	1,878		
特殊鋼工具計	84,755	6,585	6,924	7,003	6,990	6,492	6,477	40,472	6,843	5,752	6,259	6,848	6,461	6,262	38,424	78,896		
ドリル	42,836	3,479	3,739	3,617	3,742	3,576	3,713	21,866	3,908	3,513	3,734	3,883	3,722	3,684	22,443	44,308		
エンドミル	42,670	3,044	3,427	3,530	3,599	3,575	3,434	20,610	3,898	3,466	3,463	3,898	3,977	3,505	22,207	42,817		
カッタ	6,047	466	490	513	527	492	485	2,972	534	448	495	534	534	524	3,069	6,041		
ねじ加工工具	3,895	308	338	387	375	337	371	2,116	404	313	355	376	363	337	2,148	4,265		
バイト	10,689	819	856	847	784	820	827	4,954	889	774	863	970	832	799	5,127	10,082		
リーマ	2,796	188	201	213	213	226	208	1,248	231	193	261	230	225	239	1,379	2,627		
鋸刃カッタ	628	41	49	54	40	59	42	285	53	42	55	42	47	43	281	565		
インサート	166,989	13,113	13,372	13,826	12,938	13,857	14,050	81,155	14,975	12,955	14,534	15,502	15,000	14,185	87,150	168,305		
耐摩耗工具	35,142	2,780	2,987	3,082	2,920	2,894	2,979	17,641	3,160	2,783	2,918	3,116	2,988	2,933	17,899	35,540		
鋌山土木工具	9,445	720	903	911	776	1,011	839	5,159	920	799	799	794	820	824	4,956	10,115		
超硬工具計	321,137	24,958	26,361	26,979	25,913	26,847	26,949	158,007	28,971	25,285	27,476	29,343	28,508	27,074	166,658	324,665		
ドリル	1,074	84	91	82	107	101	96	561	98	79	103	103	106	101	588	1,149		
エンドミル	1,599	103	120	133	128	139	128	751	144	133	131	137	145	123	813	1,563		
カッタ	542	38	48	42	32	34	37	232	43	30	37	40	42	41	232	464		
インサート	23,859	1,928	1,918	1,863	1,986	2,025	2,111	11,832	2,229	2,020	2,068	2,087	2,142	1,974	12,519	24,351		
ダイヤ・CBN計	27,074	2,153	2,176	2,121	2,254	2,299	2,373	13,375	2,514	2,261	2,338	2,366	2,435	2,238	14,153	27,528		
ドリル	62,492	4,885	5,247	5,072	5,068	4,753	4,958	29,984	5,277	4,647	4,986	5,126	4,928	4,880	29,844	59,827		
エンドミル	49,095	3,518	3,944	4,056	4,142	4,088	3,994	23,741	4,513	3,995	3,987	4,509	4,597	4,089	25,689	49,430		
カッタ	7,507	582	627	637	649	617	618	3,730	694	591	664	702	710	704	4,066	7,796		
ギャカタ	8,314	670	725	770	660	669	664	4,158	649	596	635	581	560	542	3,564	7,721		
ブローチ	8,561	699	734	851	781	804	776	4,644	787	761	736	810	791	774	4,659	9,303		
ねじ加工工具	42,108	3,368	3,496	3,505	3,766	3,404	3,329	20,867	3,528	2,768	3,162	3,664	3,384	3,222	19,728	40,595		
バイト	10,865	828	863	853	794	829	838	5,004	897	780	869	977	841	809	5,174	10,178		
リーマ	4,281	288	308	337	345	346	330	1,954	347	293	379	345	343	354	2,062	4,016		
鋸刃カッタ	2,242	167	180	177	155	169	156	1,004	181	167	175	171	171	163	1,028	2,032		
インサート	190,848	15,041	15,290	15,689	14,924	15,881	16,162	92,987	17,204	14,975	16,601	17,588	17,142	16,160	99,669	192,657		
その他工具	15,492	1,140	1,194	1,190	1,204	1,224	1,287	7,240	1,378	1,257	1,348	1,357	1,378	1,312	8,032	15,271		
ボディ関係	20,141	1,442	1,560	1,590	1,611	1,689	1,664	9,557	1,874	1,527	1,693	1,681	1,702	1,628	10,105	19,661		
切削工具小計	421,946	32,628	34,168	34,727	34,100	34,472	34,775	204,869	37,330	32,358	35,235	37,512	36,546	34,638	213,619	418,489		
耐摩耗工具	37,207	2,931	3,145	3,245	3,097	3,068	3,136	18,622	3,330	2,927	3,080	3,289	3,117	3,052	18,796	37,418		
鋌山土木工具	9,445	720	903	911	776	1,011	839	5,159	920	799	799	794	820	824	4,956	10,115		
総 合 計	468,598	36,279	38,216	38,883	37,972	38,550	38,750	228,650	41,580	36,084	39,115	41,595	40,483	38,514	237,371	466,021		
前 年 同 月 比	94.8%	96.0%	98.4%	94.3%	96.5%	104.8%	94.9%	97.4%	104.6%	97.6%	99.1%	104.2%	100.8%	102.6%	101.5%	99.5%		

(出典：(一社)日本機械工具工業会 会員統計)

新会員代表者紹介

会員代表者が交代されました。

株式会社 ジャーボアジャパン

代表取締役副社長 宮田 郷史 様 (3月付)

会員社名・会員代表者変更

業務移管に伴い、会員社名・会員代表者名が変更になりました

旧：創信日本株式会社

新：MAIDA JAPAN株式会社 (2月1日付)

新会員代表者：取締役 星宮 実 様

編集後記

この冬は、新型コロナウイルス感染症の影響による免疫力の低下も相まって、インフルエンザが大流行しました。皆さまも体調管理には一層気を配られたことと思います。

私自身、毎年インフルエンザの予防接種を受け、手洗いやうがいを習慣づけています。さらに、電車の中ではマスクを着用し、感染症対策を徹底してきました。そのおかげか、長年インフルエンザにかかることな

く過ごせています。

春の訪れとともに気温も上がり、過ごしやすい季節になってきましたが、油断は禁物です。インフルエンザの流行は4月以降に落ち着く傾向がありますが、まだ感染の可能性は残ります。引き続き、手洗い・うがいを徹底し、人ごみではマスクの着用を心がけましょう。

すこやかに、新しい季節を迎えられますように。